

第3回伝達研修（BCPセミナー）報告書

ファシリテーター向上委員会
北谷 和子

日 時：令和4年3月12日（土） 14:00～16:30

会 場：Zoomによるオンライン開催

参加者：47名

今年度3回目となる伝達研修「BCPセミナー」がZoomによるオンラインにより開催されました。

研修の内容は、昨年12月4日に日本介護支援専門員協会主催の「BCP総論」「平常時～緊急時の対応」「居宅介護支援サービス固有事項・他施設や地域との連携」「新型コロナウィルス感染症発生時のBCP」「今から取り組むBCP作成」についての伝達研修です。

本日の講師は、徳島県介護支援専門員協会の湯浅雅志理事及び位頭薰理事の二人で、県の実情に応じた内容やポイントなどについて分かりやすく説明が行われました。

「BCP総論」や「自然災害発生時のBCP」では、介護サービスは利用者や家族にとって必要不可欠であることや、安定的・継続的に提供されることが重要であること。必要なサービスが中断しても早期の業務再開を図ることが、BCPが重要な理由として挙げられました。

また、安否確認の順番を決めておくことや定期的に訓練(シュミレーション)を実施し、スタッフへの周知や課題の洗い出しを行い、BCPの修正を繰り返し行うことで事業所に適したBCの作成に繋がることです。

「居宅介護支援サービスの固有事項・他施設や地域との連携」についてでは、地域によって災害の内容が違うことを考慮し、独居でも近所に協力してくれる人を見つけておくことや避難先の確認などを「見える化」しておくことも重要であるとのことでした。

「新型コロナウィルス感染症発生時のBCP」については、初動対応が重要で感染拡大防止体制の確立や、今後の課題として、1人ケアマネ事業所のバックアップ体制の構築が必要であるとのことです。

「今から取り組むBCP作成」については、必要な利用者にスクリーニングし、事業所内の優先順位を決め、担当などの役割分担や地域防災計画の情報入手、地域支援の取り組み状況の確認や各保険者へのアプローチについて今から取り組み、被災後も事業を継続するための発生前の準備行動が重要であることが参加者には理解されたと思います。

「自分は大丈夫」と思わず、災害や流行が起きる前に準備できることは準備し、事業所が果たすべき役割を常日頃から考え、スタッフ間で共有し、各事業との連携やケアマネジャーが果たすべき役割等の重要性について、非常に中身の濃い研修内容でした。